記者配布資料

平成27年(2015年)3月20日

所 属 名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 ながさか ゆうじ 長 坂 祐二	附属地域共生センター 所長 かとだけいこ 加登田 惠子	国際文化学部 教授 あんけい ゅうじ 安 渓 遊地	083-928-5496
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏			

1 件 名

まち むら

「新やまぐち学」フォーラム「やまぐちの環境をまもる—工と農を結んで」の開催について

2 概要

地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)やまぐち学研究の一環として「新やまぐち学」フォーラムを開催します。

このフォーラムは、山口県の豊かな環境を守ってきた先人の経験に耳をかたむけ、まちとむらをつなぐユニークな取り組みの現場からの報告を会場のみなさんと共有するとともに、瀬戸内工業地帯と農山漁村地帯の環境の保全と生活の質の確保をどう両立させるかといった課題について語り合います。

3 日時・会場

- (1) 日 時 平成27年3月26日(木)13:30~17:15
- (2)会場 山口県立山口図書館 レクチャールーム(山口市後河原 150-1) 入場無料・申込不要

4 内容

【基調講演】

「山口県の公害防止の歩みと環境問題の課題」

講師:元山口県環境審議会会長 中西 弘 氏

「有機農業と農産加工で農家が生き残るしくみづくり」

講師:山口県環境保全型農業推進研究会副会長 吉松 敬祐 氏

【活動報告】

「椹野川河口干潟再生における里海の再生に向けた取り組みについて」

山口県環境生活部 自然保護課 自然共生推進班 主任 古賀 大也 氏

「飼料米がつくる地域循環と食べ物づくり」

(株)秋川牧園生活提案担当 管理栄養士 梅村 瞳 氏

【パネルディスカッション】

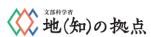
「やまぐちの環境、その昨日・今日・明日」

5 問合先

山口県立大学 国際文化学部 地域学研究室 〒753-8502 山口県山口市桜畠 3-2-1 電話 083-928-5496

FAX 083-929-0232

メール ankei@fis.ypu.jp



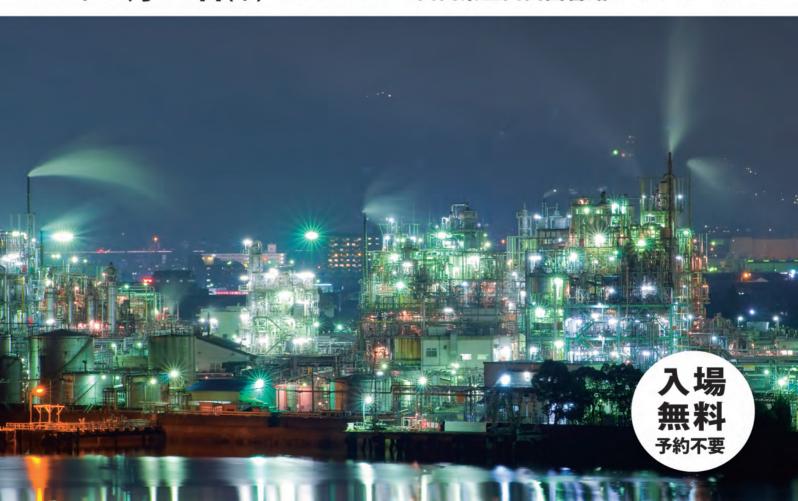




やまぐちの環境をまもる

工と農を結んで

2015年 3月26日(木) 13:30-17:15 山口県立山口図書館 レクチャールーム



●開催の趣旨●

山口県の豊かな環境を守ってきた先人の経験に耳をかたむ け、流域の上流と下流、まちとむらをつなぐユニークな取り 組みの現場からの報告を共有したい。瀬戸内工業地帯と農山 漁村地帯の環境の保全と生活の質の確保の課題を、未来に向 けて語りあいたい。

山口県立大学の「新やまぐち学」の研究成果を、昨年度の シンポジウム「桜圃寺内文庫の可能性」に続く第2弾として 地域に公開する。

あんけいゆう じ コーディネーター:安渓遊地(山口県立大学教授)

今村主税(山口県立大学准教授)

13:00 開場

13:30 開会の挨拶 長坂祐二(山口県立大学学長)

13:35-45 フォーラムの趣旨説明 安渓遊地

●基調講演

13:45-14:30 中西 弘(元山口県環境審議会会長)

「山口県の公害防止の歩みと環境問題の課題」

14:30-15:15 吉松敬祐(山口県環境保全型農業推進研究会)

「有機農業と農産加工で農家が生き残るしくみづくり」

●活動報告

15:30-15:50 古賀大也

(山口県環境生活部自然保護課自然共生推進班主任)

「飼料米がつくる地域循環と食べ物づくり」

「椹野川河口干潟における里海の再生に向けた取り組み」

15:50-16:10 梅村 瞳((株)秋川牧園生活提案担当)

●パネルディスカッション

16:15-17:00 やまぐちの環境、その昨日・今日・明日

日 時: 2015年 3月26日(木) 13:30-17:15

場 所:山口県立山口図書館

レクチャールーム (山口市後河原150-1)

入場無料・予約不要

※席に限りがありますので、お早めにお出かけください。

主催:山口県立大学 共催:NPO法人・環境奇兵隊

〒753-8502 山口県山口市桜畠3-2-1 山口県立大学 国際文化学部地域学研究室 Tel 083-928-5496 Fax 083-929-0232 Eメール ankei@fis.ypu.jp